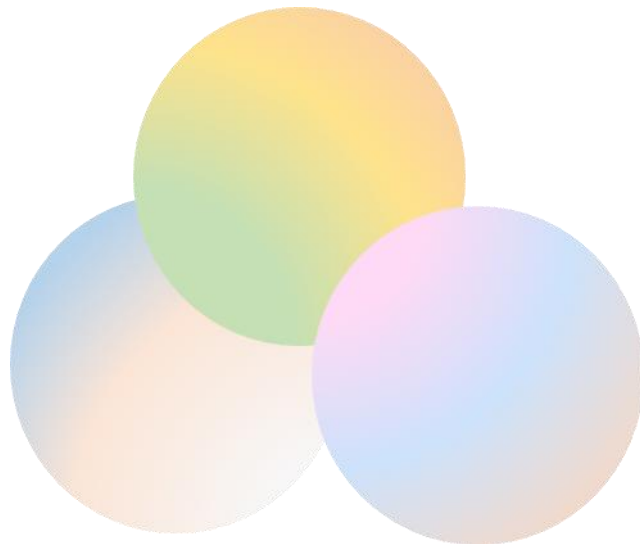

PTA をのぞいてみよう！

- 2022 年度版 -



PTA 活動は敷居が高いと思われがちですが、
その一因として、具体的な活動内容が知られていないことが挙げられます。

活動の一端を発信することで PTA 活動の支援に繋がりたいという考えから、
“町田市公立小学校 PTA 連絡協議会” 加盟校をはじめとする
町田市立小・中学校 P T A の皆さまにご協力いただき、
活動紹介を充実させた「PTA をのぞいてみよう！」を作成しました。

目 次

1. PTA の概要	3
(1) PTA とは？	
(2) PTA の位置づけ	
2. 活動	5
(1) PTA って何するの？	
(2) 活動紹介	
i. 各校の活動	
・町田第一小学校	・南第四小学校
・町田第三小学校	・鶴川第一小学校
・南第一小学校	・小山小学校
・南第三小学校	・ゆくのき学園大戸小学校
ii. 地域と連携した活動	
3. その他	14
(1) 配慮が必要なこと	
i. 個人情報の取り扱いについて	
ii. 会員と非会員について	
(2) 事務の効率化への取り組み	
(3) その他	
(4) PTA 連合組織とは	
巻末 資料	23

1. P T Aの概要

(1) P T Aとは？

⇒子どもたちの育つ環境をより良くする団体です。

P T Aとは、Parent（保護者）－Teacher（教職員）－Association（連合）の各語の頭文字をとったものです。

P T Aは、女性にまだ参政権がなかった1897年、フィービー・アパーソン・ハースト婦人とアリス・マクレラン・バーニー婦人がワシントンD.Cにて「全米母親議会」を開いたのが始まりです。バーニー婦人は、この世に新しく生まれでる子どもたちのために、幸せなよりよい境遇の新しい世界を作ることと考えました。活動には父親や教師、政治家を含めた多くの人たちが賛同したことから、「全米保護者教師議会」と名称を改め、後に「全米P T A団体」へと発展しました。

日本においては、戦後、連合国最高司令部（GHQ）がP T Aの組織を勧奨したことから、文部省（現文部科学省）が「教師と父母の会－教育民主化への手引き」を作成し、各都道府県教育委員会へ配布したのをきっかけとし、1950年には全国ほとんどの小・中・高等学校でP T Aが組織されました。

P T Aの本質は、学校に通うすべての子どもたちが豊かな学校生活や地域生活を送れるよう支えていくというものです。保護者と教職員によって学校に組織され、会員の総意に基づき自主的・民主的に運営されます。

主体性に基づいた団体のため加入は任意で、会員になれば誰もが自分の意志で活動に参加できます。子どもたちの健やかな成長を願い、話し合いながら楽しく活動することで、保護者も育ち合うことを目標にしています。

(2) P T Aの位置づけ

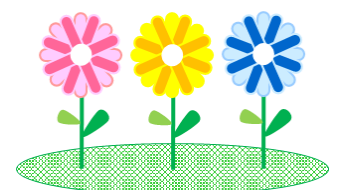
⇒学校から独立した存在です

それぞれの学校のPTA（単位PTA、略称：単P）は、青少年団体や婦人団体などと同じく、「社会教育関係団体」と位置付けられています。社会教育とは、学校教育以外の教育を指し、多様な人々により多様な場や、さまざまな機会でおこなわれている教育です。

「社会教育関係団体」は、公の支配に属さない団体として法律に定められているため、単位PTAも学校とは別の独立した組織で、個々の規約（会則）を持ち、ほかの団体や機関から統制や干渉を受けません。

しかし、子どもたちが学校という舞台で一人ひとり輝けるよう、環境を充実させ、日々成長を見守るという想いは、PTAも学校も同じです。互いに連絡をとりあって連携を図り、相談をしながら、子どもたちの育つ環境をよりよいものにしていきます。

学校とPTAは、相互に自主性を尊重し合いながら連携していくことが大切です。



2. 活動

(1) P T Aって何するの？

⇒子どもたちが学校や地域全体でより豊かに育つよう、環境を充実させます

学校が内外での活動を単独で行うのには限界があるため、P T A が学校や地域との連絡窓口となり、連絡を取り合い、情報を共有して連携を図ることで、スムーズに子どもたちのための活動がおこなえます。

学校ごとにさまざまな活動がありますが、大きく3つの目的に分けられます。

活動①：子どもたちのための活動

＜例＞子どもの交通安全を見守る「旗振り」、
運動会など各種学校行事の支援

活動②：学校、家庭、地域の架け橋

＜例＞夏祭りやレクリエーション大会の実施、
地域の遊び場で安心して遊べるよう放課後
パトロールを実施

活動③：保護者のための活動

＜例＞父母を対象とした勉強会の開催、
学校新聞やP T Aだよりなどの製作・配布に
よる情報発信

活動にあたっては、学校でどのような教育活動が行われているか、教職員と保護者間で連絡し、情報交換をすることが大切です。学校の活動をサポートし、課題があれば会員同士で解決策を練り、場合によっては学校側に改善策を提案します。

なお、学校という公の場で活動するため、特定の政党や宗教を支持したり、営利行為に利用したりするなど、政治、宗教、営利を目的とした活動は禁止されています

(2) 活動紹介

⇒単位 PTA は個々の規約（会則）を持っているため、活動内容は多種多様です。

i. 各校の活動

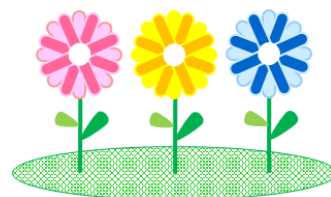
「町田市公立小学校 P T A 連絡協議会」加盟校にご協力いただき、活動に関するアンケートを実施しました！

アンケート内容

- ①PTA 理念、活動にあたって大切にしていること
- ②活動する上で工夫していること
(多くの方が参加できる工夫、活動効率化の工夫 etc.)
- ③力を入れている活動

～「役員さんの声」編～

- ①PTA 活動をするにあたって、自分で工夫したこと
- ②PTA 活動をしていて良かったこと
- ③子どもとの関わりで変化があった点
- ④日々活動の中で感じること



町田第一小学校

PTA理念：子どもの”笑顔のため”を柱とし、時代に合った活動を心がける

活動をする上で工夫していること

- ①それぞれが手分けして活動を担う
- ②活動に関するやりとりはメールで
- ③単年交代のため、マニュアルの作成を重視
- ④時代に合わせた活動や役割の見直し
- ⑤集合時に時短となる様に作業効率を工夫

力を入れている活動

- ・学区外の子どもセンターと連携したサークル活動
お父さんが主体となって、子どもたちと遊ぶ機会を作っています。
- ・旗振り当番

子どもと保護者、どちらにとっても
魅力のある活動となっています！

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・知り合いが増えたこと。&仲良くなれたこと。
作業が楽しくできました。
- ・学校の情報を得たり様子が見られること。
- ・PTA活動に興味がもてたこと。
- ・自分の意見を学校へ伝えられる。
- ・校長先生から直接お話を聞くことができる。

子どもとの関わりで変化があったことは？

- ・自分の友達に認知された。
- ・子供が役員の仕事で学校に行くと喜んでくれる。
- ・他学年の子供とも顔見知りになった。

工夫したことは？

- ・通信を読んでもらえるように、見やすく作成しました。
- ・メールを一本化し、役員で情報を共有しています。
- ・LINEを活用しています。

日々活動の中で感じることは？

- ・思っていたほど敷居は高くありませんでした。
- ・子どもたちのために親も学校に協力して、
みんなで活動する気持ちがあると感じます。
- ・様々な意見を聞いて自分の知見が広がりました。
- ・思った以上に難しくなく楽しく活動できています。
- ・考えていた内容よりも仕事が少なかった。

町田第三小学校

PTA理念：何よりも子どもたちのためになる活動と保護者先生地域の方のために

活動をする上で工夫していること

- ①係の仕事をわかりやすく説明し、仕事量を少なくする
- ②子どもと参加できる様に工夫する
- ③ペーパーレス化・オープンチャットの活用

過度な負担にならないよう、「出来る人ができるときに」を合言葉に
出来るだけ多くの保護者に参加してもらい、
役員や係を担ってもらえるよう日々活動中です！

力を入れている活動

- ①校庭で行われる盆踊りを担うことで、物販利益で子どもたちのための備品を購入
- ②地域貢献として保護者地域の方とおこなっている読み聞かせ・ペープサート
(学校の生徒、地域の保育園幼稚園などへ出前公演を実施)
- ③次年度に向け体育着・上履きなどの学校用品リサイクル販売準備
- ④PTA改革 ☆

PTA改革に力を入れています！

分かりやすい運営システムの構築

PTAって、噂とか伝言で代々引き継がれているものが結構あります。その「暗黙の了解」を無くし、活動を円滑に引き継いでいけるよう、文書に起こしておくことで誰でも担えるシステムをつくりあげています。

時代に合わせたPTAづくり

「母は専業主婦が当たり前」の時代に出来たPTAは、今の社会とはかけ離れている場合も多く、とくに本部役員などは、共働き世帯では抱えられないような仕事量があります。町田第三小では、できるかぎり仕事量を分散化し、みんなに少しずつ担ってもらう事で、誰もが活動に参加できるようにしています。子どもをこの学校に通わせる保護者として、「お客さん」ではなく「当事者」として負担なく関わられるよう、時代と個々のニーズに合わせ、気軽に参加できるよう工夫しています。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校の様子がよくわかる」「先生方と色々な話ができる」
- ・「子どものためになっていると感じられる」
- ・「任意団体として子どもの数が減る中、活動資金をどう確保していくか？」
など、課題もあります

工夫したことは？

- ・「役員会のたのしい雰囲気づくり」
- ・「役員同士の情報共有」
- ・「子どもと参加できるPTA活動」

日々活動の中で感じることは？

- ・「行政の支援、協力、理解がもっとあると良い」
- ・「PTAはなくてはならないものだけど、役員はやりたくないと感じている保護者が多い。もっと気軽に楽しく関わりを持ってもらうにはどうしたらいいのか」

南第一小学校

PTA理念：保護者と教師が協力して学校、家庭及び社会における児童のすこやかな成長をはかる

活動をする上で工夫していること

- ①保護者が、家庭、仕事の状況などを考慮しながら好きなタイミングで立候補できる
- ②各家庭、児童一名につき委員を一回以上やっていただくようお願いしているが、運営委員会、本部役員をやっていただくと、他兄弟分は免除

地域と密接に関わりながら、児童の成長を見守るということを大切にし、日々活動しています。

力を入れている活動

- ①毎年夏休みに「ワクワクスクール」を開催 ☆ (さまざまな講座を、地域の方々のご協力を得て実施)
- ②近隣の飲食店や保護者から出店者を募り、バザーを開催 (売り上げは、開校150周年記念プロジェクトに充てる)

夏休みの「ワクワクスクール」

地域と密接に関わり合いながら、子どもたちのための講座を開催！

子どもたちへ体験学習の機会を提供するため、様々な講座を開催しています。サッカーやテニスなどのスポーツ、工作、バームクーヘンづくりなど、子どもたちが楽しめる企画が盛りだくさん！「地区委員会」をはじめとするたくさんの方々に協力を頂きながら、毎年実施しています。今年度は地域の方にご協力いただきオンラインにて講座を開催しました。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「児童や先生方の普通の学校生活の様子が見られること。他学年の先生とも交流が持てたこと。」
- ・「一つ一つの行事を支える先生方の大変さや指導力を身近で感じることができたこと。」

工夫したことは？

- ・「仕事をしている保護者が増えてきているため、学校側に、会議の日程を早めに出していただけるようお願いしている。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

- ・「子どもの学校生活が以前よりも見えるようになったので、子どもの話をより親身に聞けるようになった。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「PTA活動をしていて良かったと思うことがたくさんあるにも関わらず、大変なイメージだけが先行してしまい、その良さを知ってもらうのが難しい。」

南第三小学校

子ども達が楽しく学校生活を送れるよう、学校と協力しながら活動しています。

活動をする上で工夫していること

- ①一家庭、年に一度はお助け隊として活動する
- ②役員は任期一年で、みんなが一度は参加するようにする
- ③就労している方が引き受けてくれた際、余分な仕事をなくせるよう前向きなアンケートを実施

活動にあたっては、効率よく活動することを心がけ、個人情報取り扱いにはとくに注意を払っています

力を入れている活動

- ①地域と協力してさつまいも掘りを実施
- ②学校内でのイベント(運動会、作品展など)地域の人にも見に来てもらったり、作品展には地域の方の作品を並べて展示しました。

地域の人との関係づくり

学校と地域の架け橋に

さつまいも掘りは、地域の人の畑を借り、事前準備・当日と地域の方々に支えられながら実施しています！

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校の様子がわかる。」
- ・「多方面の協力があって、子どもが日々楽しく安全に過ごせているのだと感じることができた。」

工夫したことは？

- ・「負担をなるべく減らすために、役割を分担しなるべく学校に行く日を減らすようにしていました。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

- ・「親が行くと子どもが喜ぶ。」
- ・「親が役員をやっていると、子どももイベントごとをがんばる。喜ぶ。」

日々活動の中で感じることは？

- ・「子ども、先生のため、必要な活動ではあるが、負担が大きい。」
- ・「一定の責任感を持ちながらも、共働きが増えている中、気軽に参加できるような役員づくりをしていきたい。」

南第四小学校

できるときにできることをモットーに子どもたちのために、学校、地域と連携して活動しています。

活動をする上で工夫していること

各活動にボランティアを募集することで、仕事の分散化を図るとともに、少しの時間でもPTA活動へ参加できるようにしています。

日々活動の中で感じることは？

・「『学校での子どもの様子がわかった』『知り合いが増えた』といった良い意見がある一方で、いつも同じような人たちがPTAを担っていることへの不満が少々あります...。」

<今後の課題>

3年前に、「PTAは任意団体」という観点から、一人一役を無くし、加入も参加も自由であるという方向へ転身しました。そのため、スタッフの成り手不足に困っている面もあります。いかに加入数を減らさず、参加者を増やしていくかがここ2年の課題となっており、来年度も引き続きいろいろな方法を検討していく予定です。

工夫したことは？

・「仕事をしている保護者が多いため、会議の回数を縮減し、必要があればラインで連絡しています。」

力を入れている活動

夏休み中の開放プール

開放プールという名称ではありませんが、泳力向上を目的としており、外部の指導員に指導をお願いしています。

PTA活動をしていてよかったことは？

・「学校に行く機会が増えるため、子どもたちの様子や先生方の一生懸命さが目に見えてよくわかります。」

子どもとの関わりで変化があった点は？

・「子供たちの学校での様子がわかったり、先生や地域の方々と深く関わり合えました。」

鶴川第一小学校

PTA理念

子どもたちのために、保護者各々の自主性を重んじ主体的な活動を行う。

活動をする上で工夫していること

- ①デジタルトランスフォーメーション化を図ります。
Google WorkspaceやLINEビジネスを活用し、情報の発信やアンケート、連絡のやりとりなどをデジタル化。GoogleMeetやGoogleDriveを活用し、感染症対策を取りながら会議を進行したり資料を複数人で作成したり、デジタルツールを使いこなします。
- ②多様に柔軟に対応します。PTAへの加入・未加入はもちろん、会費は「協力金」とし、支払いの判断は保護者にお任せします。
- ③やりたい人が、やりたいことをやる。それが集まった団体です。やらなければならないことを、分散させる組織ではありません。

力を入れている活動

権利を楽しむこと。

小学校の保護者でいられる間にしかできないこと、その視点と権利を大切に、楽しんで活動します。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ①多様な価値観を知ることができる。
- ②自分自身のスキルアップにつながる。
- ③地域の子どもの、成長を楽しみにできる。
- ④自分の住む地域を知ることができる。
- ⑤教職員の皆さんと話す機会がある。

日々活動の中で感じることは？

保護者としてできることは何か。それを教えてください。

私(会長)はおしゃべりで場を盛り上げるのが好きですが、講演会など黙って聞かなければならない行事は苦手です。ルールやマニュアルに従って行動するのは本当に苦手ですが、何もなかったらルールやマニュアルを作るのは大好きです。というように、みなさんにも〇〇は苦手だけど△△ならできる、ということがあると思います。それを、教えてほしいです。些細なことでもいいです。その集まりがPTAです。

工夫したことは？

- ・日常会話から現状の問題点を洗い出し、どのようにしたら問題が解決できるのか、そのために必要なことは何か、学校や行政任せにせず、まず自分たちでできることはないかを考えること。
- ・SDGsの観点を持つこと。
- ・活動の中心にいる本部役員の主観に囚われず、家庭の数だけ家庭の常識があることを前提にし、活動すること。
- ・子どもたちの教育や学校生活に関し、PTAは車の両輪のうちの片方であり、同じ方向を向いて前へ進むこと。
- ・子どもの社会性を育む地域を大切にすること。
- ・私達保護者自身が、子供とともに健やかで在ること。

小山小学校

PTA理念：保護者と教員が学びあうことで教養を高め、成果を
家庭・学校・地域に還元し、子どもたちの健全な発達に寄与すること

活動をする上で工夫していること

【多くの人が参加出来る工夫】

- ①委員会制度・ポイント制度の廃止
- ②希望制による係活動・ボランティア活動への参加制度を導入
- ③係活動の時期・内容の見える化
- ④期間は決めるが日時は指定せず、出来る時に行える活動を導入

【活動効率化の工夫】

- ①任期を2年にする(PTA本部活動への理解を深めてもらう・引継ぎの効率化)
- ②本部役員の増員
- ③PTA活動の見直し、効率化を推進する役職を新設
- ④PTA独自のHPを開設、HPの活用
- ⑤LINEのPTA公式アカウント開設、お知らせ等のLINE配信試行導入
- ⑥情報共有ツール(Googleカレンダー、ドライブなど)の活用
- ⑦各役職に責任が偏らないように、当月の活動スケジュールを共有

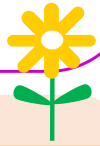
PTAも「その時代にあった活動」としていくために、効率化や改善が必要なものはアップグレードしていく必要があると考えています。

「何よりも一番は子ども達のための活動を」

子ども達の健全な成長を図るためには、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携し合う事が大切です。

特に、学校と保護者の代表であるPTA役員が一致した教育を進める協力体制は、地域社会における子どもたちへの教育についても重要な役割を果たします。

そのため、学校と家庭、さらには、地域社会を結び架け橋としてのPTAが、本来の目的を果たすにはどのような活動が良いか、且つ、どのような組織が『これからの時代にあったPTA』として必要とされているかを考える(その意識を持つ)ことを、日々の活動にあたって常に大切にしています。



力を入れている活動

～家庭、学校、社会における児童の福祉を増進するため、今後特に力を入れていきたい4つの活動～

- ①学校へのお手伝い～学校と保護者の関わりを深める～
教職員の負担軽減への支援を行い、学校の教育的環境の整備や充実化を図る
- ②子どもたちへの支援～子どもたちと共に～
PTA主催のイベントや検定試験など、子ども達を支援するとともに『挑戦する意欲』を育むためのお手伝い
- ③子ども達の安全を見守る～安心、安全な生活環境を守る～
学校内だけでなく、学校外における日常の子どもたちの安心・安全を守る活動
- ④地域社会との交流を図る～地域との関わりを深める～
地域行事のお手伝いのほか、青少年健全育成委員会やONWネットワーク協議会へ参加し、情報交換をします。
近隣の学校やPTA、市議会、町内会や子ども会などの代表者が集まって、イベントの相談や子どもたちの問題について考えています。

地域イベントのお手伝いはあくまで「連携の手段」です。市や地域団体と顔合わせをしておくことで、子どもたちに何かあった場合や災害時などに、よりスムーズに対応できると考えられるため、地域との良好な関係づくりに力を入れてきました。

PTA活動をしていてよかったことは？

- ・「学校へ行く回数が増えることで、学校の日常風景を見ることができ、子どもが普段どのような環境で学び、過ごしているかを知ることができた。」
- ・「学校や地域の方が子どもの名前を覚えて下さり、改めて、学校、保護者、地域の方々に見守られ、支えられていることを実感できた。」
- ・「PTA活動を通して、たくさんの知り合いが増え、人脈が広がった。」
- ・「普段見れない親を子どもが見たり感じたりでき、親子関係に良い影響を与えてくれた。」

工夫したことは？

- ・「助け合いの気持ちを大切に、仲間が困っていたら手助けする。」
- ・「気兼ねなく、助けて！手伝って！といえる関係性を構築する。」
- ・「相互に感謝の気持ちを伝える。」
- ・「コミュニケーションをとる。」
- ・「役割分担や活動自体を見直し、作業の効率化を図る。」

「PTA会長」として工夫したこと！

①PTAの敷居を低くすること

PTAと聞くと、正直何をやっているかよくわからないけど「すごい。大変そう。」と思われる。私もかつてはそう思っている一人でした。
しかし、PTAとは有志の保護者の集まりであり、誰にでもできることの積み重ねや、相互の思いやりで成り立っている活動です。まずは、PTAへの固定概念をなくすこと、より身近な存在になることを目指し、活動自体の見直しや活動に参加された保護者への声掛けを行ってきました。

②先生方や地域とのつながり

学校や地域の行事を行う中で、様々な方との出会いがあります。先生方との意思疎通はもちろん、地域全体で子育てをするという意識を高めるため、地域の集まりには積極的に顔を出し、多くの繋がりを大切にしています。

日々活動の中で感じる事

①「PTA活動を通して得られる楽しさ」

- ・ボランティア活動の楽しさに触れ、またそこで知り合った仲間が自分自身の人生を豊かにしてくれているので、それを子供にも伝えたい。
- ・PTA活動の楽しさを伝え、参加したいと気軽に手を挙げられる組織を目指し、活動内容をPRしていきたい。

②「地域との連携の重要性」

子どもたちがのびのびと健やかに育っていくために、地域に住む大人の目や手が必要不可欠です。PTAとして、保護者と学校と地域が連携することはとても重要だと感じます。

③「PTA運営の難しさ」

『子どもたちのため』という目的は同じでも、保護者の生活環境の違いから、年々、PTAへの考え方や参加への関わり方が変化しています。そのため、ボランティア活動を運営する難しさを感じると同時に、どのような組織がその時代に合ったものなのか、どのような活動が一人でも多くの保護者に参加していただけるものなのかを考えながら日々活動しています。
制度や仕組みを整えて、結果的に保護者の負担を軽減する『スリム化』が、今後益々必要なのではないかと感じています。

子どもとの関わりで変化があった点は？

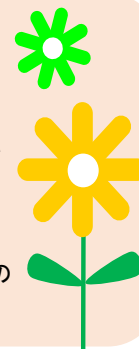
- ・学校の日常風景を見る事ができ、子どもとの共通点、話題が増え、より子どもの気持ちを理解することができた。」
- ・「子どもながらに活動を理解してくれ、『自分も』と言う思いからか、委員会やクラスの代表を決めるものに対し積極的に手を挙げてくれるようになった。」
- ・「子ども達がPTA活動を理解し、応援してくれているので、励みになっている。」
- ・「より多くの先生方と知り合い、先生方からアドバイスいただく機会も増え、気持ちに余裕を持って子どもと関われるようになった。」

活動をする上で工夫していること

- ①学年代表のほかに、スタッフ制度を導入することで保護者全員が活動に参加できるようにしています。
- ②役員会の数日前に、メールを送信するようにしました。忘れてしまって欠席する人が少なくなりました。
- ③コミュニケーションアプリを利用して、役員間の連絡を取ることで、必要な情報を共有しています。

力を入れている活動

- ①グラウンドの芝生整備
1家庭につき年1回、先生方と行っています。
- ②地元のお祭りへの出店を通して地域と交流の機会を持っています。
- ③校舎一体型小中一貫校である特徴として、中学校標準服リユース活動をしています。
- ④読み聞かせ、ヤギの飼育など子供達の健やかな心の成長に大切な活動を支援しています。



PTA活動をしていてよかったことは？

- ・1年生から9年生までの保護者が一緒に活動するので、学年を超えた知り合いがたくさんできて、色々な情報が入ってくるようになりました。
- ・先生方とも仲良くなれ、子どもの学校生活を聞くことが出来るので良かったです。

子どもとの関わりで変化があった点は？

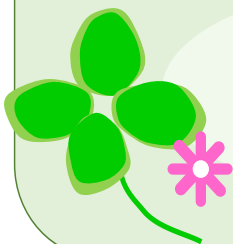
- ・学校に行くことが多くなり、子どもは嬉しいようです。
- ・先生方や学校の取り組みに興味を持ち、子どもと共に積極的に行事に参加するようになりました。

工夫したことは？

- ・自分のできる範囲で、無理をせずに、楽しみながら活動してもらえよう、断れる雰囲気を作るようにしています。

日々活動の中で感じることは？

- ・もっとたくさんの方が、役員は大変だという意識を捨て、ハードルを下げて活動に参加してほしいです。役員経験者から「協力するよ」とうれしい声をかけて頂くことがあります。一歩踏み出せば楽しさも感じられるはずですよ。
- ・原点である子どものための活動を意識して、何が必要か、考えながら活動したいと思っています。



ii. 地域と連携した活動

2021 年度、町田市内の全市立小・中学校がコミュニティ・スクールへ移行したことに伴い、学校と地域がより強く連携・協力していく体制が整えられました。

そこで、町田市立小・中学校 PTA を対象としたアンケートを実施し、地域と連携した活動について、活動内容や課題などをお伺いしました。

あいさつ運動

町内会や自治会と連携して行っています。協力者の高齢化により活動の継続が今後の課題となりそうです。

地域団体との交流会

地域の自然に親しみ、保護者、児童、地域団体との交流を行っています。

見守り活動

危険個所において旗振りを保護者が当番制で実施しているが、地域の方も毎日ボランティアで立って見守り、旗振りしてくださっています。

盆踊り

残念ながら今年度もコロナ感染拡大のため延期され、その後は天候のため中止となりましたが、年に一度盆踊りを行っています。

ラジオ体操、防災訓練、盆踊り どんど焼き、しめ飾り作り

通年は上記の催しの協力、参加をしています。

良い点：

地域の方とのコミュニケーションを取ることで、地域の問題を知ることができました。PTA 本部として、保護者がどのようにして地域と関わるか、その必要性も再認識できました。そして、どこをスリム化できるかを検討するため、イベントや定例会への参加は、現状を知るとても重要な時間でした。

課題：

PTA 本部や地区の 4 役にならないと知らない事が多すぎるのが課題かと思います。私自身、去年まで委員会には毎年携わっていましたが、地区のことは全くと言っていいほど知りませんでした。子どもたちは地域で見守り、地域で育てることが子どもにとって人間の根っこを育てることに繋がることから、地域と各家庭のつながりをさらに深くすることが必要だと感じます。

コロナ禍とも重なり地域との連携が難しい時期であったため、地域連携は希薄になってきていると感じています。ただ、最近になり少しずつ社会活動も戻りつつあるため、今後どのように進めていくか、また、学校や教育委員会などが学校や児童に係る PTA 活動についてどれだけ理解を示すかがカギとなると考えます。

社会人先生

“社会人先生”という授業を年 1 回行っています。卒業生や地域の方など専門的なお仕事をされている方に在校生が興味のある口座を選び 2～3 講座聞くことができます。子供たちがあらゆる職業に興味を持つきっかけになるのでとても好評ですが、コロナ禍で引き受けてくれる方が少なくなり、講座数が減っています。

夏休み映画上映会
夏休み明けのあいさつ運動
近隣の小・中・大・大学校との情報交換

さつまいも堀

コロナ禍になってから開催を中止していますが、例年、地域の方の畑をお借りしてさつまいも堀をしています。

地域の団体と協力してのお祭り

地域の団体の出店、生徒が部活動単位で運営するゲームやお店、PTA のバザー、と大きくかつ伝統のあるイベントです。地域とつながりを感じられるという良い点もあれば、生徒は全員参加するわけではなく、保護者の負担になっている部分もありました。どのような形が、学校と地域の連携を深めるものになるのか、今一度考え直す時間を与えられたと思っており、関係するメンバーで集まって、今後のあり方を考えていきます。

通学見守りについての意見交換

有志で日頃より児童の通学見守りをしてくださる方々と意見交換を年1度開催しています。

課題：

見守り活動をしてくださっている方がご高齢で活動ができなくなったりと活動メンバーが減少しています。PTA の防犯見守り活動の人数を増やしてもらえないかとの意見に対し、PTA の近年は共働き世代が多くいるため仕事により活動ができない方が多くいます。

その中でも、余裕のある人がいないどうしたらよいかわからず一歩を踏み出せない人がいるのではと視点を変えてみて、地域一丸となった見守り活動啓発イベントをしてみないかと提案しています。

PTA は学校行事だけではなく地域連携も必要とされているという観点より取り組んでいます。

「こども110番の家」運営委員会

設置目的：

地域住民が一体となって子ども達を不審者から守り、犯罪を未然に防ぐために子ども達が緊急に避難できる場所の確保と犯罪抑止をすること。その他、子ども達の登下校時の見守りなどについて、実施方法を検討しています。

これまでは地域別に代表委員と班長を置き、地域の行事のお手伝い（お祭りや運動会）などに参加していましたが、地域による人数の偏りや、代表委員と班長選出の負担軽減、任意的な活動を重んじるため、来年度からPTA 本部が一括して地域とのパイプ役を担うことになりました。

ここ数年はコロナの影響があり、新たな活動ができませんでした。

今後の予定としては、まちともの学校運営協議会や読み聞かせボランティア、おやじ会、地域の子どもセンター等と相互に SNS をつないで連携していくことを検討しています。

- 旗振り
- 芋掘り体験
- わくわくスクール
- 地域バトロール
- ふれ合いコンサート(南第一小学校、南中学校、つくし野中学校、鶴間小学校)

3. その他

(1) 配慮が必要なこと

i. 個人情報の取り扱いについて

⇒個人情報保護法に基づいて、適切に管理する必要があります。

平成29年5月30日に個人情報保護法が改正され、改正前は5000人以下の個人情報を取り扱う事業者は法の対象外とされていましたが、改正後はすべての事業者に個人情報保護法が適用されることとなりました。これに伴い、PTAにおいても、個人情報を取り扱う場合には法に基づいた適切な対応が必要です。

個人情報の利用目的を明確にする、本人の同意を得ずに第三者に情報を提供しないなど、より慎重な対応が求められます。

○事例紹介（町田市立小・中学校 PTA アンケート結果から）

Case 1：個人情報の取り扱いについて

個人情報の取扱いについては入会時に在学期間中(卒業まで)の個人情報の利用についての同意書をいただき、取り扱う情報についても必要最低限にするようにしました。

2017年度の法改正以降、「個人情報取扱規則」を定めて運用していましたが、規則の記載事項が明確に守られていないことや個人情報の取り扱いについてきちんと理解されていないことがありました。

〈事例〉規則には『個人情報の利用目的を決め、本人に明示する。』とありますが、実際には旗振りに必要なため住所等を報告してください。という形で全会員の子どもの学年・組・保護者氏名・住所をほぼ強制的に取得していました。（本人から提供がない場合、学校からの提供を受けていました。）その結果、提供をしていない家庭からなぜ知っているのか。という問い合わせがあり、問題になりかけました。

〈解決策〉活動等何らかで個人情報を取得する場合は、必ず利用目的を明示するとともに同意を求める様式に変更しました。従来情報を必要としていた旗振りは、旗振りの方法自体を見直し、住所を取得しなくて良い形に変更しました。個人情報の規則について、新年度の役員が変わった際に、役員会で説明し全役員で正確に理解する機会を設けました。学校と話し合い、学校からの提供は今後一切受けないこととして、双方に理解しました。

Case 2：“PTA 会員同士、プライベートなアカウントで多くの知らない人とつながってしまう”

ネット上にPWによりPTA以外の第3者が入れない場を設け、普段使っているプライベートのアカウントではなくPTA専用のアカウントを設け、コミュニティの輪を用意し、年度が替わっても、使用できるシステムの構築を考えています。LINE works や Google Work space 等、団体規模としては有料アプリケーションとなりますが、有効な手段であると考え検討を進めている所です。

ii. 会員と非会員について

⇒考えられる課題を確認し、事前に対応を話し合っておきましょう。

各事業の実施に当たっては、各会員から会費を集め、運営、行事主催、団体保険等の活動資金に充てています。そのため、以下のような場合に問題が生じる可能性があります。考えられる課題を確認し、事前に対応を話し合っておくことが大切です。

- ・PTA が購入した物品を児童、生徒に贈る場合
- ・PTA 発行の広報紙や印刷物を配布する場合
- ・PTA が費用を負担して行事を実施する場合
- ・PTA 主催行事で非会員に事故があった場合（保険が適用されないため）など

○事例紹介（町田市立小・中学校 PTA アンケート結果から）

Case 1：“PTA が購入した記念品を児童・生徒へ贈るときは？”

会員・非会員からくる児童への対応の差について。

かつては PTA 会費を納めていないご家庭は卒業時に PTA より贈られる記念品や卒業証書入れについては費用を別途請求し支払われた場合のみお渡ししていました。しかし、PTA は任意の団体であること、その活動の場が公立学校という公共性の高い場所であること、また、会員は父母と教師であり児童ではないことをことあるごとに会員及び役員に対し発信し、理解を深めることで、保護者が会員か非会員かに関わらずすべての児童が PTA 活動からの利益を平等に享受できるようにしました。

Case 2：“PTA 発行の広報紙や印刷物を配布するときは？”

過去に、PTA 非加入なので PTA からのお便り等も配らないでほしい、との注文がきたことがありました。しかし、その家庭だけ配布しないという仕分け作業が役員やクラス担任への負担になるため「非加入の方にも全員配布します」というお便りを年度初めに配布しました。

(2) 事務の効率化への取り組み

i. 事務の効率化への取り組みについて

⇒共働き世帯の増加など生活スタイルの変化に伴い、PTA活動の負担軽減が課題として挙げられます。

PTA活動で「やり方を工夫して効率的になった」「事業を整理して事務量を減らした」などの取り組みや工夫を収集しました。他のPTA活動事例を参考としていただくことで、PTA活動の負担軽減につながる情報をご紹介します。

○事例紹介（町田市立小・中学校PTA アンケート結果から）

Case 1：“Wi-Fi 導入”

PTA 室に Wi-Fi を導入し、Google Workspace（無料版）を活用、本部内で資料を共有・編集をしています。また、Google Site にてホームページを作成、公式 LINE も開設し、各委員さんとのやり取りは Google Classroom を利用、お手伝いの申込みなどは Google Forms を利用しています。SDGs の観点から、来年度より紙の発行を極力少なくする準備をしています。

Case 2：“Google フォーム活用”

お知らせ等を紙ではなく、別の形式で伝達することにより、印刷の負担を軽減することにつながりました。また、どうしても PTA 全会員に連絡したい場合には紙での配布の対応としておりますが、その場合でも文書をできる限りコンパクトにすることで、ホチキスで留める手間を省く等の工夫をしております。毎年同じ文書を利用することも効率的ではありますが、文書が長いものは、必要な情報をいかに短い文書で伝えるか、見直すことも大切です。その他にも集計が必要なアンケート等は、Google フォームを活用して、集計作業の負担を減らしたり、引継ぎの負担を減らすために、資料は電子的に共通のプラットフォームに置くなどして、USB メモリでの受け渡しをなくすようなことも始めています。

Case3：“アンケート集計には”

Google フォーム、カレンダー、ドライブの利用

- アンケート等の集計するものはすべて Google フォームにすることで学校での印刷・配布作業と回収・集計作業が不要になりました。
- Google カレンダーに各役職の活動内容を記載→従来は2か月ごとに各役職の活動報告をあげ、それを書記が取りまとめて更に報告書を作成していましたが、カレンダーに随時書き込むことで、予定の共有や年間の活動報告書が出来るようになりました。また HP と連動させることで、系の活動内容や持ち物等も確認できるようになりました。
- Google ドライブに役職ごとのフォルダを作成し、最終データを格納することで引継ぎを容易にしました。→従来は役職ごとの USB を代々受け継ぎ、更新してきたので、役職間でばらつきが生じ、全体のデータや活動の流れが見えにくかったため、一括管理をして全員が見られるように改めました。これにより、データの紛失や活動の忘失を防ぐことが出来るようになりました。

Case4：“スマホアプリの導入”

ポケット Wi-Fi 導入と PTA 室の PC への LINE アプリ導入

PTA 室でネットに繋がながらデータの更新作業を行い、即時本部のグループ LINE での確認作業を行うことで、お知らせの修正作業や役員間での確認作業の効率化を図り、全員が PTA 室に揃う必要がなくなりました。また、平日の日中、PTA 室に行ける人だけに仕事が偏ることを防ぎ、業務の平準化を図りました。

Case5：“PTA 公式アカウント”

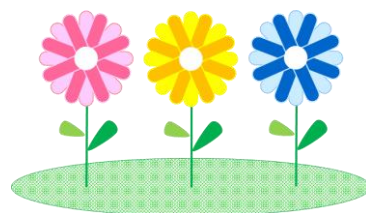
PTA の LINE 公式アカウントの開設（2022 年度試行導入、2023 年度本格導入）

- LINE から係活動やボランティア活動の情報発信→従来は紙配布、学校一斉メールでの配信を行っていた為、学校での印刷・配布作業と学校へのメール配信依頼が不要になりました。
- LINE に Google フォームを添付し、アンケート収集→従来は紙配布、紙回収を行っていた為、学校での印刷・配布作業と回収・集計作業が不要になりました。
- LINE のリッチメニューから学校 HP・PTA の HP へのリンク、Google カレンダーとの連動を行い配布済みのお知らせの閲覧や PTA 活動。の日時の確認を容易にできるようにしました。→紙を無くしたことによる問い合わせや再配布対応の削減、緊急時のお知らせ（コロナや悪天候での活動中止等）の配布対応や学校へのメール配信依頼が不要になり、迅速な対応ができるようになりました。

Case6：“HP 開設”

PTA の独自 HP 開設

PTA 発信のお知らせの掲載や緊急時の情報発信を PTA のみで行えるようになりました。→学校の HP 掲載や学校一斉メールでの配信を行っていた為、緊急時に常に学校への依頼が必要でしたが、不要となりました。また、①の LINE 公式に先生方も入っているため、速やかな情報共有やデータの連携ができ、確認作業がスムーズになりました。



(3) その他

各校からいただいた、取り組みについての回答をご紹介します。

○事例紹介（町田市立小・中学校 PTA アンケート結果から）

2022年度から入会・非入会の意思を確認しましたが、会則との相違が多く混乱したため、今年度中に会則の変更を予定しています。主な変更点は、PTAは任意的な活動であることを重んじ、希望者のみが活動できるように、委員などの人数の制限を廃止します。また会費については、地域の小学校のPTAに習い、「全ての子どもとその保護者全員のための活動である」ことを理解してもらい、その活動への協力の意思表示として会員・非会員問わず金銭を納入できるよう、「会費」から「協力金」に変更予定です。

コロナをきっかけに「子供たちの安全・安心」に関わる活動を残して、下記対応により事務の削減や効率化を行っています。

- ・PTA 全体会議(学校/本部/運営委員)を1学期に1回(年3回)に削減。
- ・総会の審議や各種アンケートは Google フォームを活用。
- ・クラス係は休止して、ボランティア募集で対応。
- ・本部役員の会議はオンラインで開催。
- ・会議資料はメール配布、総会資料はWEBに掲載して、紙配布を廃止。
- ・WEB ベルマークを活用。従来型のベルマークは寄付のみ。

外国にルーツを持つ児童、保護者への対応

近年のグローバル化に伴い、両親とも外国にルーツを持ち、日本語がわからないというご家庭が出てきています。

学校関連のお便りの対応については、町田にほんごスクールネットの方がサポートして頂いていますが、学校で必要なものが買える店や近隣のクリニックの情報などのサポートが必要となっています。

本校では今年度、そういった方々をサポートするための意見交換会を実施し、体制を構築する予定です。

この課題については、PTAの保護者ができること、学校側ができることを意見交換しながら進めていく予定です。

入会の意思は入学時にし、人数のカウント等はしていません。会費は「協力金」とし、支払いも保護者が判断します。会員でなくても PTA の活動に賛同できれば納めてもらい、集まった金額で、活動をします。

組織図を廃止したので、やらなくてはならないことを割り当てるのではなく、やりたいことがある人が集まって活動を起こします。例えば広報誌を作りたい人が集まって、集まった人数で作りたい広報誌を作成するなどしています。

本部役員の選出：立候補/推薦により候補者を募り、挙げられた候補者が集まって互選会を行うことで毎年選出しています。しかし、ここ数年、立候補する方はおらず、推薦を受けた方も「なぜ自分が推薦されたのか」と不満の声があがってしまいます。他校の話聞きながら、より良い選出方法はないかと検討はしておりますが、現時点で良い方法は見つかっておりません。視点を変えた解決策としては、本部役員の人数を減らしてしまうことであり、そのオプションも含めて検討は続いています。

コロナ禍で見直しが行われスリム化が進み、保護者側の負担は大幅に減りました。しかし逆に PTA としての負担が増えてしまったため、次年度に向けて改革を検討しています。

以前は入学＝入会が当たり前のような組織だったため、会員間で負担を平等にしないと“ずるい”という考えが大変多くありました。そこで、あくまでも PTA は任意の団体であり、保護者や教師の善意の上で成り立つものだという意識を高め、「気軽に参加でき、気軽に休める」環境にしたうえで、あまり大切ではない活動を減らし、みんなが気持ちよくやれるようにしました。その結果、以前はくじ引きで役員を決めていた状況は概ね立候補で埋まるようになり、1 期で終わることなく 2,3,4 期と役員を続けてくれる方も増えました。そうした変化により、以前は「前はこうだから」とか「変えたほうがいいけど面倒だ」「次年度の人がやればいい」という言葉は殆ど聞かなくなり、「次年度はこうにしたいから今から少しずつ準備をしよう」など積極的に PTA の改革と活動に参加する意欲が見られるようになりました。

(4) PTA 連合組織とは

⇒それぞれの学校のPTA（単位PTA）が地域ごとに集まった連合体です
郡市、都道府県・政令指定都市、地域ブロック、全国と組織されています

PTA連合組織は、単位PTAの活動の輪を広げ、地域におけるPTA活動を活性化させる大切な役割を担っています。単位PTAの代表者で構成されており、情報交換会や研修・交流会などを実施することで、単位PTAでの個々の活動にも役立てられています。

町田市内においては、市立小学校で「町田市公立小学校PTA連絡協議会（略：小P連）」、市立中学校で「町田市立中学校PTA連合会（略：中P連）」が組織され、活動しています。

○活動紹介

「町田市公立小学校PTA連絡協議会」の皆さんに伺いました

P連として活動してみても良かったこと！

① 「情報交換会」で様々な人と出会い、視野が広がる

加盟校のほか、教育委員会から教育委員さんや校長会の先生、PTA担当職員も参加し、子どもたちを取り巻く教育環境をより良くするために、みんなで議論を行っています。

保護者と市側で直接意見交換できるため、とても貴重な機会となっています。また、単位PTAでの困りごとにも相談することができ、先駆者が必ずいるので、眼から鱗な情報が手に入り、解決策につながるヒントがたくさん得られます。

②保護者の意見を市に発信していく場が得られる

市の各審議会等へ委員として出席しているため、普段知ることのできない市政情報がたくさん得られるだけでなく、保護者の生の声を伝えることができます。

③町田市への要望書提出を通して、保護者のニーズを伝えていくことができる

単位PTAでは要望書の提出が難しいため、P連最大の強みとなっています。もちろんすべての要望がそのまま通るというわけではありませんが、実現が難しい要望については理由を丁寧に説明してもらい、代替案を検討してもらったりします。市に保護者側のニーズを知ってもらう大切な機会でもあるため、要望書は毎年提出しています。

④教育委員会からいち早く種々案件の報告をしてもらえる

学校運営・教育に関する気になっていた情報を、いち早く知ることができます。市側からの希望で新しい事業等の説明に来ることもありますが、要望すれば、気になっている事業の担当職員に「情報交換会」へ出席してもらうこともできます。

資 料

「PTAをのぞいてみよう！-2022年度版-」 【アンケート回答用紙】

日頃よりPTA活動をとおして教育行政にご協力いただき、ありがとうございます。

「PTAをのぞいてみよう！-2022年度版-」を作成するにあたり、
下記のアンケートにご協力をお願いいたします。
なお、回答欄が足りない場合は、お手数をお掛けて致しますが、回答欄を広げてご記入ください。
この様式以外のものでご提出いただいても構いません。
また、該当する質問のみ、ご回答いただければ結構です。

①活動紹介（PTAをのぞいてみよう！2021年度版P7～P11参照）

「PTAをのぞいてみよう！2021年度版」に記載されている活動紹介について、内容の更新（加筆・修正など）をお願いします。新たに行った取組やコロナ禍での活動の工夫などがあれば、ぜひ教えてください。

※以下、②③④の項目については、学校・個人等が特定されないように配慮して掲載いたしますので、ぜひご回答ください。

②その他（PTAをのぞいてみよう！2021年度版P13～16参照）

こちらのページは、PTA活動を行う上で配慮が必要なこととして、個人情報の取り扱いや会員と非会員に関する課題について掲載しています。こういった内容に関連した相談が多く寄せられていることから、PTA活動をしていく中で、課題や問題になった事例、またその解決策などをお伺いし、PTA活動を円滑に進めていくための参考になる情報を掲載していきます。
貴校で、困った事例や問題になった事例、またその解決策があれば、ぜひ具体的に教えてください。

③地域との関わり

町田市では、2021年度から市立小中学校がコミュニティ・スクールに移行したことにより、学校と地域がより強固に連携・協力する体制が整えられました。また、PTA活動においても、町内会・自治会などの地域との関わりが多くあると聞いています。
こちらの項目では、PTAと地域が連携・協働して行っている活動を収集し、他のPTAの活動事例を通して、新しい活動を行うきっかけとなる情報を掲載していきます。
貴校で、他の団体と連携して行っている活動がありましたら、活動内容や活動をして良かった点、今後の改善点を、ぜひ具体的に教えてください。

④事務の効率化への取り組み(新項目)

共働き世帯の増加など生活スタイルの変化に伴い、PTA活動の負担軽減が課題として挙げられます。
こちらの項目では、PTA活動の見直しや効率化により行った取り組みや工夫を収集し、他のPTA活動事例を参考としていただくことで、PTA活動の負担軽減につながる情報を掲載していきます。
貴校で、これまで行ってきた事業や事務について、「やり方を工夫して効率的になった」「事業を整理して事務量を減らした」などの取り組みがありましたら、ぜひ具体的に教えてください。

—2022年12月発行—

この冊子に関するお問い合わせ

町田市教育委員会

生涯学習部生涯学習総務課

TEL : 042-724-2181

FAX : 050-3161-9866